

# 施策評価シート (評価対象年度：平成30年度)

## 1. 基本的事項

① 施策名〔施策小〕	1 再生可能エネルギーの活用	② 施策番号	3207
③ まちづくりの方向〔政策(章)〕	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち		
④ 基本施策〔施策大(節)〕	3 日常生活や事業活動などにおいてすべての市民・事業者が資源・エネルギーの利用などに配慮し、環境に負荷をかけないまちをめざします		
⑤ 基本的方向〔施策中〕	2 再生可能エネルギー有効利用の推進		
⑥ 担当部名	⑦ 担当課名		
市民生活環境部	環境整備課		

## 2. 施策の現状把握

### [1] 施策の対象・意図

① 施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	市民(住宅用太陽光発電システム設置者)
② 意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	再生可能エネルギーの一つとしての太陽光発電の普及啓発を図り、地球温暖化防止等の環境保全に寄与する。
③ 環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	地球温暖化に寄与する。

### [2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 申請者(交付決定世帯)の発電出力数 計算式:	kw	市内の太陽光発電設置による発電出力数がわかる。
② 計算式:		
③ 計算式:		

指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	備考	
① 申請者(交付決定世帯)の発電出力数	kw	目標値				111		
		実績値	254	165	89	—	—	
		達成率						
②		目標値						
		実績値						
		達成率						
③		目標値						
		実績値						
		達成率						

### [3] 施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標				総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化	
		指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価		今後の方向性
1	太陽光発電補助事業	交付決定世帯の発電出力数	kw	165	89	111	4,152	1,707	2,021	A	ア	◎
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						4,152	1,707	2,021			

### 3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	再生可能エネルギーの普及促進につながる。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	太陽光発電の普及促進の状況。 (売電価格の低下とともに減少傾向にある)
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	市民が環境保全に寄与するために太陽光発電システムを設置し、市がその設置者に設置費の一部を補助している。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	比較的安価で設置できる太陽光発電システムの普及は、環境負荷の軽減につながる。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	太陽光発電補助事業については、電力買い取り制度の見直し・廃止の動きがあり、来年度から中止する可能性あり。

### 4. 一次評価(所管課評価)

一次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	エネファームなどの他の再生可能エネルギーへの補助制度の検討も必要となっている。	

### 5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	他の再生可能エネルギーへの補助制度に関する情報収集を行う。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	他の再生可能エネルギーへの補助制度について、実施の可能性を検討する。
中長期的対応 (3~5年をめどに取り組む改善案)	他の再生可能エネルギーへの補助制度の実施。

### 6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

二次評価	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
	B	再生可能エネルギーの普及促進に寄与し適切に取組が行われている。 決定世帯の発電力数の減少も見られることから、今後の施策展開に向けた検討を進められたい。	